

第4次たかまつ男女共同参画プラン平成30年度実績報告の概要

1 第4次たかまつ男女共同参画プランで設定した目標値の達成状況

第4次たかまつ男女共同参画プラン（以下「第4次プラン」という。）に掲げる3つの基本目標の進捗状況を測るために設定した成果指標について、平成30年度の達成状況を取りまとめました。

項目	評価項目		評価A達成項目 (%) (実績値把握項目に対する割合)
	項目	30年度実績値 把握項目	
【基本目標 I】 男女が互いに理解し合う 社会づくり	7	2	1 (50.0%)
【基本目標 II】 男女が共に活躍する社 会づくり	36	13	7 (53.8%)
【基本目標 III】 男女が共に安心できる社 会づくり	7	6	1 (16.7%)
合計 (50項目)	50	21	9 (42.9%)

目標値を設定した50項目の成果指標のうち、定期的な調査の該当年度ではないため、あるいは、具体的な評価・実績値がないため、データ把握ができなかった項目を除く21項目のうち、評価Aを達成した項目は、9項目（42.9%）でした。

<評価基準> 達成率 86%以上「A」、71%以上86%未満「B」 56%以上71%未満「C」、56%未満「D」 統計の調査年度の関係等で評価ができないもの「-」	
--	--

2 基本目標別の状況

(1) 基本目標 I：男女が互いに理解し合う社会づくり

① 達成率の高い主な指標

担当課：人権啓発課

指標名		人権啓発事業等参加者数					
基準値 (H26)	11,895人	実績値 (H29)	11,438人	評価	D	達成率	△60.7%
目標値 (R1)	13,400人	実績値 (H30)	12,759人	評価	B	達成率	75.6%

【主な事業取組状況】

施策	人権意識を醸成する啓発活動の推進
主な取組	人権週間、男女共同参画週間等における啓発活動
内容	男女共同参画週間の推進にかかる講座や研修を行うとともに、性同一性障害など性的少数者であることを理由とする偏見や差別の解消に向けた啓発活動に取り組む。
29年度実績	①男女共同参画週間行事等参加者数 1,045人 街頭キャンペーン、記念講演会、パネル展及び啓発グッズの配布、女性弁護士による法律講座・相談の実施
30年度実績	①男女共同参画週間行事等参加者数 951人 記念講演会、パネル展及び啓発グッズの配布、女性弁護士による法律講座・相談の実施 ②LGBT講演会の開催 参加者数 160人 出張講座・パネル展を市内4か所のコミュニティセンターで実施 市職員と当事者との意見交換会の開催、ポスター作成、申請書の性別欄の削除等
担当課	男女共同参画・協働推進課

施策	男女共同参画の視点に立った国際交流、平和活動の推進
主な取組	姉妹・友好都市交流の実施
内容	姉妹・友好都市等と親善研修生の派遣及び受入等を通じて、友好親善を図るとともに、姉妹・友好都市等を広く市民に周知することを目的に、パネル展、イベント等を実施する。
29年度実績	①姉妹・友好都市等と親善研修生の派遣及び受入等を通じて、姉妹・友好都市との友好親善を図った。 ②玉藻公園、ヴィランドリー城、トゥール市歴史的庭園連携協定締結1周年記念事業を実施
30年度実績	①は同上 ②平成30年にトゥール市姉妹都市提携30周年記念事業を実施した。また、台湾の基隆市との交流協定締結1周年記念事業として、台湾や基隆市を広くPRをするとともに、台湾を相手地域とするホストタウンとして、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成するため実施したイベントでは、来場者の約7割が女性であった。 来場者数 4,200人
担当課	観光交流課都市交流室

(2) 基本目標Ⅱ：男女が共に活躍する社会づくり

① 達成率の高い主な指標

担当課：男女共同参画・協働推進課

指標名		女性委員のいない審議会等の割合					
基準値(H26)	4.0%	実績値(H29)	1.0%	評価	A	達成率	152.5%
目標値(R1)	0%	実績値(H30)	0%	評価	A	達成率	100.0%

担当課：人事課

指標名		市男性職員の育児休業取得率					
基準値(H26)	0.9%	実績値(H29)	9.7%	評価	A	達成率	145.1%
目標値(R1)	13.0%	実績値(H30)	12.2%	評価	A	達成率	124.5%

② 達成率の低い主な指標（取組強化が必要な項目）

担当課：男女共同参画・協働推進課

指標名		審議会等における女性委員の割合					
基準値(H26)	38.0%	実績値(H29)	40.4%	評価	A	達成率	118.0%
目標値(R1)	42.0%	実績値(H30)	39.4%	評価	D	達成率	46.7%
達成度が低い理由	平成29年1月から、審議会等委員への女性の積極的な登用について運用マニュアルを定め、全庁的に取り組んでいるが、一部の専門分野等に女性が少ないといった理由から目標を達成できなかった。						

担当課：子育て支援課

指標名		放課後児童クラブ待機児童数					
基準値(H26)	140人	実績値(H29)	269人	評価	D	達成率	△184.3%
目標値(R1)	0人	実績値(H30)	286人	評価	D	達成率	△139.0%
達成度が低い理由	教室数を増設したものの、クラブへの入会ニーズが高く、入会希望者が定員を上回ったためと考えられる。						

担当課：コミュニティ推進課

指標名		地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合					
基準値(H26)	18.8%	実績値(H29)	20.5%	評価	D	達成率	21.0%
目標値(R1)	35.0%	実績値(H30)	21.3%	評価	D	達成率	20.6%
達成度が低い理由	地域コミュニティ協議会を構成する各種団体の正副会長における女性の割合は増加傾向にあるが、その経験年数等により、各地域コミュニティ協議会における正副会長への女性の登用までには至っていないと考えられる。						

【主な事業取組状況】

施策	保育サービスの充実
主な取組	保育所等入所待機児童の解消
内容	自主整備による私立の保育所、小規模保育事業などの募集を行うことで、保育が必要な子どもの受入れ人数を増やす。
29年度実績	私立の児童福祉施設等の施設整備に対して助成を行うことで、保育が必要な子どもの受入れ人数を増やした。
30年度実績	自主整備による私立の保育所、小規模保育事業などの募集を行うことで保育が必要な子どもの受入れ人数を増やしたが、待機児童の解消には至らなかった。 ・保育所の創設 2件、小規模保育事業 3件
担当課	こども園総務課

施策	育児・介護休業等の取得促進
主な取組	両立支援制度の周知と利用しやすい職場環境づくりに向けた啓発
内容	平成30年度から「働き方改革3か年重点取組（スマイルプラン）」に全庁を挙げて取り組むとともに、「お父さんの子育て応援研修」や「イクボス研修」も継続的に実施することで、今後とも、特定事業主行動計画に基づき、管理職が職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、組織として、働き方に対する意識改革を図るとともに、職員が職務と子育てを両立しやすい環境づくりを推進する。
29年度実績	①お父さんの子育て応援研修 2回開催、受講者数 26人 ②イクボス研修 2回開催、受講者数 107人 2回目開催後、高松市版イクボス宣言「もっとイクボス」を行い、働き方に対する意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進を図った。
30年度実績	①お父さんの子育て応援研修 1回開催、受講者数 12人 ②イクボス研修 1回開催、受講者数 35人 職員の長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、平成30年度から3か年、働き方改革重点取組、通称スマイルプランに、全庁を挙げて取り組むこととした。 ＜主な取組＞ ・人事評価制度の評価項目に「働き方改革」の目標項目を設定 ・カエル会の実施 ・階層別研修と職員提案制度の連動 ・ICTを活用したテレワークの検討 等
担当課	人事課

施策	市役所における取組の推進
主な取組	新病院整備に伴う院内保育所の整備
内容	みんなの病院の開院に合わせ、病院局に勤務する職員の子育て支援および福利厚生の実により職場環境の充実を図り、医師及び看護師等の確保と定着を目的とし、平成30年9月に院内保育所を開所するとともに、保育を開始する。
29年度実績	みんなの病院開院と同時期に院内保育所開所を目指し運用の検討を行った。
30年度実績	みんなの病院開院に合わせ、平成30年9月に院内保育所「どんぐり」を開所し、保育を開始した。なお、運営については、委託した。
担当課	みんなの病院総務課（新病院整備課）

(3) 基本目標Ⅲ：男女が共に安心できる社会づくり

① 達成率の高い主な指標

担当課：保健センター

指標名	妊婦歯科健康診査受診率						
基準値(H26)	41.0%	実績値(H29)	45.6%	評価	A	達成率	102.2%
目標値(R1)	50.0%	実績値(H30)	47.5%	評価	A	達成率	96.3%

② 達成率の低い主な指標（取組強化が必要な項目）

担当課：こども女性相談課

指標名	DV被害相談実人数						
基準値(H26)	137人	実績値(H29)	224人	評価	D	達成率	△470.3%
目標値(R1)	100人	実績値(H30)	255人	評価	D	達成率	△425.2%
達成度が低い理由	平成28年10月から、本市でDV被害者の住民票の写し等の交付制限に関する申出に必要な対応をすることで、相談実人数が増加した。なお、相談内容に応じて、香川県子ども女性相談センターや弁護士等の関係機関につなぐなど、被害者の保護や自立支援に努めた。						

担当課：こども女性相談課

指標名	被虐待児の受付処理件数						
基準値(H26)	170件	実績値(H29)	200件	評価	D	達成率	△300.0%
目標値(R1)	150件	実績値(H30)	301件	評価	D	達成率	△873.3%
達成度が低い理由	<p>児童虐待の定義が広がったことや、市民の児童虐待に対する意識が高まったことで、関係機関からの通告及び児童相談所からの事案送致が増加する等の理由により受付処理件数が増加した。なお、児童相談所を始め、警察署、民生児童委員などで構成する高松市児童対策協議会の個別ケース検討会を活用するなどにより、適切な対応に努めた。</p>						

【主な事業取組状況】

施策	高齢者、障がい者等が家庭や地域で安心して暮らせる社会基盤の構築
主な取組	複合的な課題を抱えた世帯の支援
内容	<p>相談支援包括化推進員を配置し、その推進員を中心に、保健師、社会福祉士が相談支援チームを結成し、複合的な課題を抱えた世帯の相談支援や訪問対応（アウトリーチ）等を実施する。（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業 香南及び勝賀地区 2か所
29年度実績	—
30年度実績	<p>平成30年8月からモデル事業として勝賀エリア・香南地区において、高松市社会福祉協議会へ委託して、まるごと福祉相談員（相談支援包括化推進員）による相談支援を実施した。まるごと福祉相談員は、社会福祉士やケアマネジャー等の福祉専門職で、積極的に地域へ出向き、アウトリーチ（地域での情報収集・戸別訪問等）を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝賀エリア：相談件数 32件、アウトリーチ 285件 ・香南地区：相談件数 13件、アウトリーチ 58件
担当課	健康福祉総務課